

A guidebook for those who start farming.



岩手県一関地方で 農業をはじめよう！

就農までのガイドブック



STEP 1

～あなたの本気度は？～

チェック

農業をはじめようとするその気持ちを



□ 農業を選んだ理由ははっきりしていますか？

農業は自然を相手にする仕事なので、思いがけない事態が発生することもあります。農業を始めてから安定して収入を得るまでに時間がかかることもあるので、じっくり考えて決めましょう。

□ 家族の理解は得ていますか？

農業を職業にすると、生活の全てが大きく変化します。家族とよく話し合っ、理解を得ましょう。

□ 農業に使える資金は十分ありますか？

農業を始めるには多額の初期投資が必要です。就農1年目の農業経営には896万円の費用がかかるという統計データ*もあります。制度資金などの公的な資金の活用も可能ですが、ある程度の自己資金を準備しましょう。

*出典 全国新規就農相談センター新規就農者の就業実態調査 (R6)

就農までのステップ



目指す農業のタイプはどれだろう？

情報収集をして、就農相談に出かけよう

品目を決めて、必要な知識・技術を身につけよう

農業を始めるには何を準備すればいいのだろう

これからの農業経営の計画を作成しよう

農業経営のスタート

一関地方では、就農後の農業経営の確立に向けてサポートします！

STEP 1

目指す農業のタイプはどれだろう？

“農業”といっても、就農の形態によって次の3つのタイプがあります。それぞれのタイプでステップが異なるので、まずは目指す農業がどのタイプか考えてみましょう。

独立・自営就農

農業経営を自分で切り盛りする就農のタイプです。生産技術と経営ノウハウの勉強が必要です。農地の確保、農業機械・施設の導入、営農資金の用意、住居の確保など、農業を始めるための初期投資が必要です。

経営を継承して就農

親から農業経営を引き継いで就農するタイプです。農地や農業機械・施設などを譲り受けることで、初期投資が少なく済むことも。親から生産技術や経営ノウハウを学ぶことも可能です。

雇用就農

農業法人等に就職して、従業員として働く就農タイプです。給与をもらうサラリーマンと同様の勤務形態です。働きながら生産技術を勉強して、将来的には独立して経営することも可能です。

STEP 2

情報収集をして、就農相談に出かけよう

農業を始めるために必要なことなど、わからないことを書籍やインターネットで調べたり、農業を始めたい人を対象としたイベントに参加して情報収集しましょう。

～雇用就農（農業法人等への就職）を目指す方～

次の方法で求人情報を調べて、働いてみたい農業法人等を見つけましょう。

《情報収集の方法》

- ① 農業を始めたい人を対象とした農業イベント（新・農業人フェア、U・Iターンフェアなど）
- ② JA いわて平泉 無料職業紹介所
- ③ ハローワーク

ある程度情報が集まったら、どんな農業をしたいのか、目指す農業の姿を具体的にイメージして、就農したい地域の就農相談に出かけてみましょう。

／実際に一関市へ移住・農業を始めた方から話を聞こう！／

いちのせき農業チャレンジツアー

- 対象：移住を検討している方、農業に興味を持っている方
- 内容：一関市内での農作業体験、先輩農業者との交流など
- 開催時期：毎年秋頃1回程度

最新の情報は一関市へお問い合わせ下さい。



★新規就農ワンストップ相談窓口を開設しています★

一関地方では、新しく農業を始めたい方のために就農相談を行なっています。

一関地方で農業を始めるために必要な準備や支援策等をご案内します。

ぜひご相談ください！

相談日や会場は、変更となる可能性もあるので、申し込み時にご確認ください。

- ・相談日：毎月第2水曜日 午後1時30分～（1人あたり1時間程度）
- ・相談会場：一関市川崎支所2階多目的室（岩手県一関市川崎町薄衣字諏訪前137）
- ・相談申込：相談日の5日前までに、P12の関係機関へご連絡ください

相談申込の時には、氏名などの基本情報のほかに、

農業をはじめる動機 **経営したい品目** **就農したい地域** **農業に使える自己資金**

など*を伺います。

*全て決めておく必要はありません。どのように農業に取組みたいか、イメージをお聞かせください。

MEMO



Hand-drawn lines for taking notes, with small green plant icons at the top and bottom right.

STEP 3

品目を決めて、必要な知識・技術を身につけよう

一関地方の特徴的な園芸品目をご紹介します。

ハウス栽培の品目は天候の影響を受けにくいので、長期間出荷が可能です。

JA いわて平泉の各生産部会では、毎月の現地指導会や研修会などを通じて、栽培技術の習得を応援しています。



トマト・ミニトマト(ハウス栽培)

初心者でも比較的育てやすく、面積あたりの収益が高い品目です。

ミニトマトは軽量作物なので、女性1人でも栽培管理から出荷までできます。



R2年新規就農 高橋龍祐さん

必要な機械・施設

●ハウス、動力噴霧機

【栽培スケジュール】

月	3月			4月			5月	6月			7月			8月			9月			10月			11月			
	旬	上	中	下	上	中	下		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
トマト	△			▲			○			□	□	■	■	■	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□
ミニトマト						○			□	□	□	□	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

△：は種 ▲：仮植 ○：定植 □：収穫 ■：収穫最盛期

【栽培試算表】*

トマト ハウス栽培 10a



販売額	3,900,000円	目標収量 10,000kg/10a 単価 390円/kg
経費	2,460,000円	種苗費 (2,200本)、肥料費、農薬費、資材費、栽培設備費※1、農具費※2、出荷経費
所得	1,440,000円	

ミニトマト ハウス栽培 10a

販売額	3,645,000円	目標収量 4,500kg/10a 単価 810円/kg
経費	2,017,000円	種苗費 (1,500本)、肥料費、農薬費、資材費、栽培設備費※1、農具費※2、出荷経費
所得	1,628,000円	

* 栽培試算表は税抜表示です。 ※1 栽培設備費は補助事業 (1/2助成) を活用した場合のハウス償還10年の試算です。ハウスの導入方法によって経費は変動します。 ※2 農具代は補助事業 (1/2助成) を活用した場合の動力噴霧機償還7年の試算です
参考資料：令和7年園芸だよ！全員集合新規栽培者向け説明会資料 (JA いわて平泉)



ピーマン(ハウス栽培・露地栽培)

一関地方の温暖な気候を活かして、県内の他の産地より長期間の収穫ができます。

露地栽培は初期投資が少なく済み、栽培管理も比較的簡単な作型です。



R4年新規就農 宮下琢さん

必要な機械・施設

●ハウス栽培：ハウス、動力噴霧機、●露地栽培：動力噴霧機

【栽培スケジュール】

作型	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ハウス	○				□	□		□	□	□	□	■	■	■	■	■	■	■	□	□	□	□	□	□	
露地						○						□	□	□	■	■	■	■	□	□	□	□			

○：定植 □：収穫 ■：収穫最盛期



【栽培試算表】*

ハウス栽培 10a

販売額	3,440,000円	目標収量 8,000kg/10a 単価 430円/kg
経費	2,738,000円	種苗費 (1,100本)、肥料費、農薬費、資材費、栽培設備費※1、農具費※2、出荷経費
所得	702,000円	

露地栽培 10a

販売額	2,460,000円	目標収量 6,000kg/10a 単価 410円/kg
経費	1,472,000円	種苗費 (1,200本)、肥料費、農薬費、資材費、農具費※2、出荷経費
所得	988,000円	

* 栽培試算表は税抜表示です。 ※1 栽培設備費は補助事業 (1/2助成) を活用した場合のハウス償還10年の試算です。ハウスの導入方法によって経費は変動します。 ※2 農具代は補助事業 (1/2助成) を活用した場合の動力噴霧機償還7年の試算です。
参考資料：令和7年園芸だよ！全員集合新規栽培者向け説明会資料 (JA いわて平泉)



なす (ハウス栽培・トンネル栽培)

安定した単価が魅力の品目です。

ハウス栽培は作業しやすく、1人でも広い面積の管理ができます。

トンネル栽培はハウスよりも低コストで導入でき、露地栽培よりも長期間収穫が可能な作型です。



R6年新規就農 緒方理恵さん

必要な機械・施設

●ハウス栽培：ハウス、動力噴霧機、●トンネル栽培：動力噴霧機

【栽培スケジュール】

作型	月	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ハウス			○					□	□	□	□	■	■	□	□	■	■	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	□
トンネル						○				□	□	□	□	□	■	■	□	□	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□

○：定植 □：収穫 ■：収穫最盛期

【栽培試算表】*

ハウス栽培 10a

販売額	4,600,000円	目標収量 11,500kg/10a 単価 400円/kg
経費	3,216,000円	種苗費 (1,000本)、肥料費、農薬費、資材費、栽培設備費※1、農具費※2、出荷経費
所得	1,384,000円	

トンネル栽培 10a

販売額	2,541,000円	目標収量 7,000kg/10a 単価 363円/kg
経費	1,614,000円	種苗費 (600本)、肥料費、農薬費、資材費、農具費※2、出荷経費
所得	927,000円	

* 栽培試算表は税抜表示です。 ※1 栽培設備費は補助事業 (1/2助成) を活用した場合のハウス償還10年の試算です。ハウスの導入方法によって経費は変動します。 ※2 農具代は補助事業 (1/2助成) を活用した場合の動力噴霧機償還7年の試算です。
参考資料：令和7年園芸だよ！全員集合新規栽培者向け説明会資料 (JA いわて平泉)



きゅうり(ハウス栽培・露地栽培)

生育のスピードが速いため、種まきから約2ヶ月後には収入を得ることが可能です。

ハウス栽培は促成栽培と抑制栽培を組み合わせると長期収穫が可能で、高値時の出荷により高単価が望めます。

露地栽培は初期投資が少なく済み、長期収穫が可能な作型です。



R5年新規就農 千葉紳也さん

必要な機械・施設

●ハウス栽培：ハウス、動力噴霧機、●露地栽培：動力噴霧機

【栽培スケジュール】

作型	月	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
ハウス促成 + 抑制			○				□	□	□	■	■	■	■	□	□	○				□	□	■	■	■	■	□
露地						△				○				□	□	■	■	■	■	■	□	□	□			

△：は種 ○：定植 □：収穫 ■：収穫最盛期



【栽培試算表】*

ハウス促成 + 抑制栽培 10a

販売額	4,914,000円	目標収量 14,000kg/10a 単価 351円/kg
経費	3,682,000円	種苗費 (720本×2作)、肥料費、農薬費、資材費、栽培設備費※1、農具費※2、出荷経費
所得	1,232,000円	

露地栽培 10a

販売額	3,159,000円	目標収量 9,000kg/10a 単価 351円/kg
経費	1,844,000円	種苗費 (576本)、肥料費、農薬費、資材費、農具費※2、出荷経費
所得	1,315,000円	

* 栽培試算表は税抜表示です。 ※1 栽培設備費は補助事業 (1/2助成) を活用した場合のハウス償還10年の試算です。ハウスの導入方法によって経費は変動します。 ※2 農具代は補助事業 (1/2助成) を活用した場合の動力噴霧機償還7年の試算です。

参考資料：令和7年園芸だよ！全員集合新規栽培者向け説明会資料 (JAいわて平泉)



りんどう(露地栽培)



岩手県が全国トップクラスの生産量を誇る品目であり、盆、彼岸を中心に需要が見込める切り花です。

転作田に適した作物で、複数の品種を組み合わせることで、7月から10月まで長期出荷が可能です。

定植年の収入は得られませんが、宿根草なので、一度定植した後は4～5年間は栽培を続けられます。

必要な機械・施設 ●動力噴霧器

【栽培スケジュール】

作型	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
定植年						○	○	○																	
極早生種 (2年目以降)		▲						□	□	□															
早生種 (2年目以降)					▲						□	□	□	□											
晩生種 (2年目以降)					▲												□	□	□						

○：定植 ▲：株仕立て □：収穫

切り花の需要期である、盆・彼岸を中心に作付けしましょう。

花・茎・葉すべてが商品となるため、収穫まで薬剤散布による防除をしましょう。



【栽培試算表】*

露地栽培 10a

	定植年	2年目	3年目以降	備考
販売額	—	1,440,000円	2,100,000円	収穫収量 定植年：採花なし 2年目：24,000本/10a 3年目：35,000本/10a 単価：60円/本
経費	635,000円	627,000円	832,000円	種苗費(8,000本)※1、肥料費、農薬費、資材費、農具費※2、出荷経費
所得	-635,000円	813,000円	1,268,000円	

* 栽培試算表は税抜表示です。 ※1 種苗代がかかるのは、定植年のみです。 ※2 農具代は補助事業(1/2助成)を活用した場合の動力噴霧器償還7年の試算です。

参考資料：令和7年園芸だよ！全員集合新規栽培者向け説明会資料 (JAいわて平泉)

次の品目は、農業を始める準備費用が大きかったり、販売までに時間がかかる品目です。経営を継承して農業を開始する方におすすめです。

米・畜産(酪農、肉用牛繁殖、肉用牛肥育)・
菌床しいたけ・果樹(りんご、日本なし、もも等)

園芸だよ! 全員集合

初めて園芸品目の栽培を始めたい人は参加してみよう
これから園芸を始めたい人のための説明会

- 内 容：一関地方の主力品目（野菜と花）の栽培（栽培暦・収益等）について説明します。
- 開催時期：毎年 冬期に1回

最新の情報は、JA いわて平泉までお問い合わせください。

研修などの支援

一関市・平泉町では、初めて農業を始める方の
研修などを支援しています。

親の経営を継承する方も、先輩農家の技術を勉強できるチャンスです！

一関市		新規学卒者等就農促進支援事業
事業内容		JA いわて平泉の臨時職員として働きながら、実地研修や座学研修を受けます（一関市の委託事業）
対象者		研修を開始する日の年齢が49歳以下で、一関市内に就農を希望する方
期間		新規学卒者は2年以内、その他は1年以内
日給		支給あり （別に通勤手当・社会保険制度あり） ※支給額はJA いわて平泉規定による
		意欲ある農業担い手支援事業（家賃補助事業）
事業内容		一関市に転入して農業研修を受ける方、認定新規就農者の方に家賃を補助します
対象者		市内に転入後2年を経過していない方で、市が認定する農業研修に取り組んでいる方または認定新規就農者
期間		最長2年間
助成額		家賃の半額（上限20,000円/月）
		意欲ある農業担い手支援事業（農業法人雇用促進事業）
事業内容		農業法人等へ雇用就農（正規雇用）し、6ヶ月が経過した方に就農祝い金を給付する
対象者		①新規学卒者（学校卒業後2年以内）、②その他（①以外）
助成額		①100,000円、②50,000円

意欲ある農業担い手支援事業（第三者継承支援事業）	
事業内容	新規に就農を希望する人が生産基盤を円滑に確保することができるよう、経営を中止する農家の第三者継承を前提に農家研修を行う際の経費に対し補助する
期間	最長2年間
助成額	125,000円/月

平泉町		平泉町新規就農者支援事業
事業内容		平泉町で新たに就農する方が、町内の受入農業経営体などで農業研修を受ける際に補助金を交付します
対象者		<ul style="list-style-type: none"> 平泉町内に住所を有する18歳～60歳の方 研修期間が6ヶ月以上で、月8日以上研修を受ける方 事業終了後、引き続き町内に住居し2年以上就農できる方
期間		2年以内
支援内容		<ul style="list-style-type: none"> 研修支援金……月額50,000円 住居費支援金…家賃の2分の1以内（上限20,000円）

各支援内容については、一関市、平泉町にお問い合わせください。



STEP4

農業を始めるには何を準備すればいいのだろう

農業を始めるには、資金、農地、農業機械・施設、移住する場合は住居の準備が必要です。

資金

最低限、次のような資金が必要です。

- ・経営開始に必要な資金
- ・経営に必要な運転資金
- ・農業収入を得るまでの生活資金（最低2年間の生活費）

農地

農地を選ぶポイントは次のとおりです。

- ・生産に必要な面積が確保できるか
- ・品目に合った環境が確保できるか
- ・住居から遠く離れていないか

住居

農地の近くに確保すると、しっかり栽培管理ができて安心です。



農業機械・施設

必要な農業機械や施設を一気に揃えるには多額の資金の準備が必要です。次の方法で負担を軽減できる可能性があります。

- ・中古の機械・施設の導入
- ・リース、国や県等の補助事業*の活用

*事業によって、要件や補助額、募集時期などが異なります。お早目にご相談ください。

STEP 5

これからの農業経営の計画を作成しよう

農業経営を実現するために、「青年等就農計画」を作成して「認定新規就農者」になりましょう。

★青年等就農計画・認定新規就農者ってなんだろう？

青年等就農計画は、新たに農業経営を始めようとする青年等が、経営を開始してから5年後までの1年ごとの販売額、目標販売額や収量、機械・施設の導入時期などを記す計画です。

この計画の内容が就農する市町村から認定を受けると、「認定新規就農者」になります。

★認定新規就農者になることで活用できる融資制度や補助事業があります。

○青年等就農資金（融資制度）

新たに農業経営にチャレンジする認定新規就農者を応援する無利子の資金です。青年等就農計画の達成に必要な次のような経費に利用可能です。

- ・ 農業生産用の施設・機械の取得費
- ・ 経営開始に必要となる資材費
- ・ 果樹の新植・改植費
- ・ 家畜の購入費・育成費 など

○経営開始資金

農業経営を開始してから3年以内の認定新規就農者の経営確立を支援するため、最長3年間、年間最大165万円の資金を交付する国の補助事業です。

※ 詳しい事業内容は、就農する市町村へお問い合わせください。

○経営発展支援事業

新規就農される方に機械・施設等導入にかかる経費の上限1,000万円（経営開始資金の交付対象者は上限500万円）に対し、国と県が支援します。（補助上限3/4以内）

一関地方で農業を始めたい方の就農相談から就農準備、経営を始めてから経営確立まで一貫してサポートしています。ぜひ、一関地方で農業をはじめませんか？

一関地方の新規就農に関する相談先・連絡先

※一関地方農林業振興協議会を構成する組織です。

関係機関名	電話番号	ファックス	所在地
一関市農林部農政推進課	0191-21-8225	0191-21-4221	〒021-8501 岩手県一関市竹山町7-2
平泉町農林振興課	0191-46-5564	0191-46-3080	〒029-4192 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山45-2
JAいわて平泉 営農部営農振興課	0191-34-4001	0191-34-4004	〒029-0202 岩手県一関市川崎町薄衣字久伝18-1
岩手県県南広域振興局農政部 一関農林振興センター	0191-26-1413	0191-26-1875	〒021-8503 岩手県一関市竹山町7-5
一関農業改良普及センター	0191-52-4961	0191-52-4965	〒029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字北方85-2

この冊子は令和8年2月に発行したものです。
最新の情報は関係機関・団体にお問い合わせください。